

粕川

自主学習グループに入りませんか？

自主学習グループとは、同じ目的を持った仲間が集まり、公民館で学びながら活動するグループのことです。

現在粕川公民館では、33の自主学習グループが活動しています。ヨガ、フラダンス、健康体操などの運動系から、手芸、書道、音楽などの文化系と多種多様なサークルがあり、どのグループも意欲的に活動を行っています。

地域への学びの還元を目的に、楽しみながら自分たちの学びを深め、仲間との絆づくりができるのがとても魅力です。

今年は、新型コロナウイルスの影響で普段通りの生活が難しく、ピリピリとしたムードが漂う一年でした。

でも、そんな時こそ新しいことを始めて、気持ちを前向きにしてみたいかがでしょうか？

新しいことへのチャレンジは、ドキドキ・ワクワクいっぱい、心から元気になれるはずです！

※現在、新型コロナウイルスの影響で、サークル活動を自粛している団体もありますので、見学や体験を希望する方は粕川公民館までお問い合わせください。(285-3311)

団体名〔学習内容〕	活動日
ドリーム・サウンズ〔バンド〕	毎週水曜日(夜間)
粕川プルメリア〔フラダンス〕	毎週火曜日(午後)
向日葵〔3B体操〕	毎週火曜日(夜間)
粕川囲碁クラブ〔囲碁〕	毎週日曜日(午前)
和のエクササイズクラブ	毎週火曜日(午後)
粕川歌謡喜楽会〔カラオケ〕	毎月第1・3・5木曜日(午後)
ハイビスカス〔フラダンス〕	毎週火曜日(午前)
健康太極拳クラブ〔太極拳〕	毎週木曜日(午後)
粕川陶芸クラブ〔陶芸〕	毎月第2火曜日(午前)
葵キルトクラブ〔パッチワークキルト〕	毎月第2木曜日(午前)
粕川書の友会〔書道〕	毎月第2・4土曜日(午前・夜間)
リボンレイの会〔手芸〕	毎月第2・4金曜日(午前)
写団エイト〔写真〕	毎月8日(夜間)
粕川読書クラブ〔読書〕	毎月第3火曜日(午後)
藤栄会〔民謡〕	毎週水曜日(午後)
ヨーガ愛好会〔ヨーガ〕	毎週木曜日(午前)
絵手紙サークル〔絵手紙〕	毎月第1・3水曜日(午前)
郷土史を学ぶ会〔郷土史〕	随時月曜日(午後)
粕川エージレス体操〔ストレッチ体操・リズムダンス〕	毎週土曜日(午前)
粕川元気レディース〔健康体操〕	毎週金曜日(午前)
寿々女会〔舞踊〕	毎週木曜日(午後)
かすかわロコモコ〔ウクレレ〕	毎週木曜日(夜間)
手あみの会〔編み物〕	毎月第1・3金曜日(午前)
せせらぎ句会〔俳句〕	毎月第3火曜日(午前)
手づくりパンサークル パルレ・マム〔パン作り〕	毎月第1木曜日(午前・午後)
かすかわ歌吟倶楽部〔歌謡吟詠〕	毎週水曜日(午後または夜間※隔週で変更)
粕川絵画クラブ〔絵画〕	毎月第1・3金曜日(夜間)
墨友会〔書道〕	毎週木曜日(午後)/毎週月曜日(午後)
栄之輔会〔踊り〕	随時
ひまわり&リズムダンス〔リズムダンス〕	毎週水曜日(夜間)
膳書道会込皆戸教室〔書道〕	毎月第2・4金曜日(夜間)
富三洲会〔舞踊〕	毎週月曜日(午後)
膳書道会〔書道〕	毎月水曜日(月2回)夜間

癒しの滝巡り 第2弾

「不動大滝」の動画 Youtubeで配信開始

赤城山で一番大きな滝である「不動大滝」を、よりたくさんの人に知っていただきたいと思い、動画を作成しました。

前不動駐車場ー滝沢不動尊ー不動大滝までの道のりを実際に歩いて撮影し、約9分弱の動画にまとめました。

また、動画内では滝沢不動尊の不動明王像が「片手不動」と呼ばれている由来なども紹介しています。

「前橋市 Youtube」で検索してチェックを試みてください。



こちらからご覧
になれます。↓



冬の青少年健全育成運動

SNSに起因する事犯の被害児童数は、平成25年から増加傾向にあります。

子どもたちが被害に遭わないよう、地域と家庭でインターネットの安全・安心な利用について考えましょう。

運動期間 = 12月15日(火) ~ 1月31日(日)

粕川地区卓球大会の中止について

令和3年2月7日(日)に予定していました「第51回粕川地区卓球大会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止いたします。楽しみにしていた地域の皆様には申し訳ございませんが、次回以降の開催にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

粕川体育協会・粕川体協卓球部

令和2年度前橋・高崎連携事業文化財展 東国千年の都

『発掘調査最前線～東国文化の中心地を掘ってみた～』

上細井中西部遺跡群・元総社蒼海遺跡群・小島田八日市古墳・小稲荷遺跡群西大室七ツ石遺跡などの展示があります。

前橋会場：臨江閣別館 1階 西洋間

月曜休館・月曜日が祝日の際は開館し直近の平日が休館。会期中は連日開館。

開催期間：令和3年1月7日(木)～1月12日(火)

開催時間：9時～18時

問い合わせ先：前橋市教育委員会事務局文化財保護課

電話：027-280-6511



左) 上細井中西部遺跡群出土の墨書土器「真」

右) 小稲荷遺跡群西大室七ツ石4号墳須恵器大甕ムカデ圧痕

モニターを募集します

【プレゼントあり!】

2020年12月21日から2021年3月12日まで、ふるさとバスで交通系ICカードとマイナンバーカードを活用した決済サービスの実証実験を行います。モニターとして実験にご協力いただける場合、500円チャージ済みのSuicaをプレゼントします! 下記の通りお申込みの上、説明会にご参加ください。

※「Suica」は東日本旅客鉄道(株)の商標登録です。

説明会の日程：1月29日(金)10:00～11:00、

14:00～15:00

(どちらかにご参加ください)

説明会の場所：粕川公民館ホール

お申込み期間：12月21日(月)から1月15日(金)まで

お申込み先：前橋市交通政策課

電話：027-898-6302

Fax：027-224-3003

(Faxの場合は、氏名と電話番号を記載してください)

粕川の源流域を訪ねて④

小沼の伝説②

小沼の本地仏は虚空蔵菩薩

平安時代に布教された本地垂迹説（神仏習合）によると、小沼の本地仏は虚空蔵菩薩であり、月田近戸神社に納められている虚空蔵菩薩は赤城小沼に祀られていたものと同じという。

小沼の東の山に祀ってあった虚空蔵菩薩の銅像は、明治の廃仏毀釈を恐れて、村人が担ぎ下ろして黒保根村の医光寺に安置した。銘文に「赤城小沼の御正体永祿元年」とある。小沼を仏と見立て、神に代わって虚空蔵菩薩が救ってくれるという教えである。中世に盛んに演じられた

古浄瑠璃の中で神道集「赤城大明神の事」が変形されて、深須（深津）に流された高野辺家成が小沼の竜神になり、主になって、時々、十丈※の蛇に乗って出没するという説話も伝えられている。

※一丈は3.03m

赤堀家内室の入水

江戸時代伊勢崎藩では、元文年間（1736〜41）に領内村々の口承・記録等を報告させた。そのうちの「上植木元文書上帳」の記載によると「赤城大明神」のご生躰は百足なので、百足を退治した俵藤太とは敵対関係である。赤堀氏は俵藤太の子孫であるため、妻が赤城に参詣して小沼の畔に行くと、小沼の百足に引き込まれ大蛇になっ

てしまった。これを聞いた赤堀殿は、小沼の土手を断ち割ろうとしたが、大嵐になったので断念した。その後、小沼の土手に赤堀殿の堀り口として存在していた。そのため、赤堀姓の家は赤城山に参詣しないとある。

赤城には大沼（おの）小沼（この）と二つの沼があるが、神道集の中で語る赤城姫の大沼入水を除いて、小沼の入水の伝承は、どんなに遡っても江戸初期頃であるうと「赤城山民俗記」の著者都丸九十九氏は述べている。

小沼用水として整備される

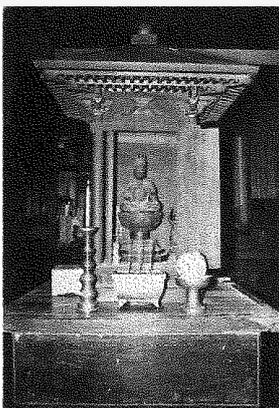
小沼入水伝承の中に、遺体を捜すために小沼の土手を掘り破り、水を引かせて遺体を捜そうとするところがあるが、その背景には、水を灌漑用に使いたいという強力な願望があったと思われる。

それが現実となり、元禄7（1694）年に普請奉

行大沢勘太夫殿によって、小沼の水源堀削の工事が行われたのである。その時の模様を「上植木元文書上帳」が詳細に伝えている。

昭和54（1979）年には小沼南側の堤防工事が行われ、土手は嚴重にコンクリートで築かれ、水門は二基のハンドルで操作できるようにになっている。

小沼は、多くの伝説を生み粕川流域の人達は神と崇め奉り、古代から豊かな恵みと潤いを与えてくれた。源流小沼の水が未来永劫にわたって枯渇しないよう、周囲の森林を保全・保護し、守っていききたいものである。2月号に続く宮崎・記



医光寺虚空蔵の銅像

▼写真…尾崎喜左雄著『群馬の地名』下巻より

人権標語

小学校児童の標語をご紹介します。（敬称略）

※学年は令和元年度時です。

●ありがとう 少しの勇気で みな笑顔

田村 佑樹（粕川小5年）

●だいじょうぶ みんな仲間さ たすけ合い
松村 そら（粕川小5年）

●毎日が 楽しい日には みんなの笑顔
荻野 直人（粕川小5年）

●大丈夫 声をかけて にこにこに
中俣 心瑚（粕川小5年）

■ 詐欺被害等防止機能付き電話機の購入補助

高齢者の消費者トラブルは電話勧誘から始まるものが多いと言われております。被害の未然防止を目的に、詐欺被害などを防ぐ機能がついた電話機の購入に補助を実施しています。

まずは、消費生活センターにお電話ください。

対象 = 本市に住民登録がある市内在住者
で、世帯全員が65歳以上の人

対象機種 = 次の2つの機能を持つ新品の電話機
本体

- ①電話の着信時に電話相手に警告メッセージを発する機能
- ②通話内容を自動録音する機能

補助額 = 購入費（電話機本体のみ）の半額
（上限5,000円、100円未満切り捨て）

申し込み = 必ず購入前に消費生活センターへ電話して仮申請。申請書が郵送で届いたら電話機を購入し、必要書類を同センターへ持参。

申し込み期限 = 仮申請日から4週間以内
かつ令和3年2月26日までに
対象機種を購入し申請

問い合わせ：消費生活センター
（前橋市千代田町二丁目5-5 シーズ・
ポート108号 TEL：027-212-3260）



前橋市立図書館 粕川分館だより

今月の新刊ご案内

休館日 < 木曜日 >

12月3. 7. 10. 17. 24

29日（火）～1月4日（月）年末年始

1月7. 14. 28

18日（月）～21日（木）蔵書整理

《一般書》

●もっと、やめてみた。（わたねべぼん）●
さらに、やめてみた。（わたねべぼん）●マ
ナーはいらない（三浦しをん）●駆込み女
（坂岡真）●眠れる美女（秋吉理香子）●建
築史探偵の事件簿（蒼井碧）●魔術師（谷崎
潤一郎）●絵ことば又兵衛（谷津矢車）●劇
場版鬼滅の刃 無限列車編ノベライズ（吾峠
呼世晴）●真夜中のカーボーイ（山田五郎）

《児童書・絵本》

●ウィズ・ユー（濱野京子）●ねこの町の小学校（小
手鞠るい）●ぼくの犬スーザン（ニコラ・デイビス）
●クリスマスの小屋（ルース・ソーヤー）●ぎょうれ
つのできるスパゲッティやさん（ふくざわゆみこ）●
こたつうし（かわまたねね）●すずめのうんどうぼう
しつくります（西本鶏介）●ひとりひとり（谷川俊太
郎）●ふゆごもりのまえに（ジャン・ブレット）●ぼ
うしくんのクリスマスプレゼント（新井洋行）

○冬の分館行事

12月15日（火）～25日（金）の間、ご利用の皆さんにスタッフ手作りのクリスマス飾りプレゼント
があります。

市立図書館粕川分館 ☎027（285）3312

○開館時間 < 平日 > 午前10時～午後6時 < 土日祝 > 午前10時～午後5時

■発行日 令和2年12月15日発行
■編集発行 粕川公民館 〒371-0217 前橋市粕川町西田面194-4
TEL 027-285-3311 FAX 027-230-6063
ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
→ 公民館 → 粕川公民館



WEB-SITE

